

平成 30 年度鳥取県福祉研究学会事業報告

1 会務の運営

(1) 総会の開催

年 1 回 平成 31 年 2 月 16 日 (土) 鳥取看護大学・鳥取短期大学 (188 人)

- ・平成 29 年度事業報告及び決算について
- ・平成 30 年度事業計画及び予算について

(当初予定の平成 30 年 7 月 7 日は大雨のため延期とし、平成 31 年 2 月 16 日の研究発表会にて開催)

(2) 理事会の開催

年 3 回 第 1 回 平成 30 年 4 月 20 日 (金) 県立福祉人材研修センター(8/15 名)

- ・平成 29 年度事業報告及び決算について
- ・平成 30 年度事業計画 (案) 及び予算 (案) について
- ・平成 30 年度総会について

第 2 回 平成 30 年 7 月 7 日 (土)

- ・第 12 回研究発表会の実施について

※大雨のため中止とし、全理事に書面決議にて同意を得た。

第 3 回 平成 31 年 2 月 16 日(土)

- ・平成 31 年度事業日程 (案) について

(3) 監事会の開催

年 1 回 平成 30 年 4 月 10 日 (火) (2 名)

- ・平成 29 年度の業務の執行状況について
- ・平成 29 年度の資産および会計諸帳簿について

(4) 県知事賞等審査委員会の開催

年 1 回 平成 31 年 2 月 5 日 (火) 県立福祉人材研修センター (5 名)

- ・学会奨励賞等審査選考方法について
- ・各分野の審査結果報告について
- ・学会奨励賞候補について
- ・県知事賞候補について

2 事業の実施状況

(1) 研究発表会の開催

平成 31 年 2 月 16 日 (土) 鳥取看護大学・鳥取短期大学 (344 人)

- ・研究発表 35 題

口述発表 34 題：高齢施設 13、高齢在宅 5、障がい 5、児童 4、地域 6、その他 1
ポスター発表 1 題

- ・講演 『『聞き書き』に学ぶ ～傾聴・寄り添いから見えてくるもの～』

鳥取看護大学 教授 土居 裕美子 氏

- ・資料作成 第 12 回研究発表会要旨集 400 部

(2) 表彰・推薦

① 県知事賞候補の推薦

研究発表の内容が最も優秀な者を県知事賞候補者として推薦。(1 題) 副賞：10 万円

② 学会奨励賞

研究発表の内容が優秀な者を表彰。(5 題) 副賞：各 2 万円

(3) 啓発広報

- ① 県社協ニュース、県社協機関紙『志あわせへ』(4回)、
日本海新聞、朝日新聞への掲載(各1回)
- ② 募集要項の作成・配布
関係団体、NPO法人等へ配布、鳥取県、県社協主催の研修会等の参加者へ配布
- ③ ホームページ、Facebookでの周知

3 第12回研究発表会結果報告

■鳥取県知事賞(1題)

その他社会福祉領域

「ニート・引きこもり等の若者支援」

研究発表者 社会福祉法人伯耆の国 坂本 昭文(さかもと あきふみ)

■学会奨励賞(5題)

・高齢者福祉分野(施設系)

「新調理システム導入とサービス向上への挑戦」

研究発表者 社会福祉法人鳥取福祉会 特別養護老人ホーム若葉台

小山 彰子(こやま あきこ)

・高齢者福祉分野(在宅系)

「ふれあいの先に見えたもの～子どもが高齢者の心を動かした!～」

研究発表者 社会福祉法人鳥取福祉会 アクティブ津ノ井 宮脇 真美(みやわき まみ)

・障がい児・者福祉分野

「地域移行支援事業が利用される要因とは

～精神保健福祉士の関わりに関する意識調査から～」

研究発表者 鳥取県精神保健福祉士会 三宅 英行(みやけ ひでゆき)

・児童福祉分野

「子どもの命を守る防災体制のあり方」～児童養護施設の現場から～

研究発表者 社会福祉法人青谷福祉会

児童養護施設青谷こども学園 吉田 学(よしだ まなぶ)

・地域福祉分野

『対人援助の作法』で強靱かつ持続可能な相互扶助を目指して

研究発表者 鳥取大学大学院医学系研究科 竹田 伸也(たけだ しんや)